

## Aavik U-150 Unity Amplifier



※ この写真の脚部は Ansuz Darkz を追加しています

## Aavik U-150 プリメインアンプ

Aavik（オウヴィック）U-150 アンプの標準構成は、3つのライン入力を備えています。オプションで DAC モジュール（PCM-DSD）、MC フォノステージを追加できます。

Aavik U-150 は強力な 2 x 300W 出力を有し、ハイエンド・オーディオ・システム全体を 1 つの筐体で操作します。Aavik 150 シリーズは、高い評価を受けている Aavik 300 シリーズの開発と製作によって得られたすべての経験を基に設計開発され、名高い上位機種サウンドクオリティを踏襲するものです。

スポーティーで洗練されたルックスと、シンプルで視認性に優れたドットマトリックスディスプレイにより、直感的に必要なすべての操作が可能です。

U-150 の重要なコンセプトは、Unity を象徴とする「U」として、最先端の機能と種々のコンポーネントをひとつのコンパクトで高性能ユニットとして一体化させることでした。

### ラインステージ/ボリューム調整

ラインステージには独自の反転したヴァーチャルグラウンドアンプ技術を用い、深く、静かな漆黒の背景上に素晴らしい音楽ディテールを展開します。

ライン段のゲインは 5-15dB（Line3 のみ 1-11dB）の間で調整可能です。この機能により U-150 の 3 つの入力レベルを個別に調整することができます。

ボリュームは抵抗ラダー（R2R）回路により 1dB ステップで 80 段階の調整が可能です。





※ この写真の脚部は Ansuz Darkz を追加しています

### パワーアンプ部

オリジナルの UMAC™ クラス D テクノロジーは、比類のないオーディオ仕様を提供します。

- 競合機種を凌駕する実測値による最高水準の音響性能
- HF ダンピングネットワークを必要とせず、20kHz までの全出力帯域幅を提供する唯一の Class-D 技術
- 超高効率により、コンパクトな基板サイズで大容量のヘッドルームを実現

UREC™ 電源技術を採用

- ユニバーサル電源対応 - 世界の異なる電源電圧に自動的に適応
- 必要とされる電力を常時一貫して供給
- 1 Hz まで最大出力幅を維持
- 高効率をほこり、コンパクトなサイズで高出力を実現

主にパワーアンプの設計に注目されがちですが、この部分はアンプ全体のうち、1つの要素にすぎません。Aavik にとって、プリアンプ部、特にボリュームコントロールの設計をさらに重要なものとしてとらえています。それに続いて、電源、キャビネットの機械設計、内部配線（Ansuz 含む）、相互の接続、DAC、フォノステージ、.....と繋がっていくのです。

オプション：

#### DAC

D/A コンバーターセクションは Texas (旧バーブラウン) 製チップを電流出力モードで使用しています。

U-150 は DSD (PCM コンパート) および MQA に対応しています。

MQA デコーディングは X-MOS USB レシーバーチップで進行します。D/A コンバーターセクションにおけるアナログ回路は U-300 と同一です。D/A コンバーター自体にリクロック回路を持ち、可変アップスケールとフィルタリングの機能を有しています（特に高能率スピーカー使用時に再生トーンバランスを微調整するのに有効です）。

#### Phono

U-150 のフォノ回路の基本設計は U-300 と同等のものを採用しています。初段はバイポーラトランジスタによるフローティング設計のバランス回路で RIAA 等価回路を備えています。その後、FET を使用するステージで必要な増幅を行います。初段で発生するノイズはフォノステージに致命的な影響を及ぼすため、U-300 では実測値-88dB という極めて静粛な状態を実現しました。等価回路自体のゲインは 65dB で、ラインレベルでの +5~15dB 調整範囲と合わせてフォノ回路トータルの増幅度は 70~80dB です。極めて低い出力の MC カートリッジでも、他の MC ハイゲイン EQ や昇圧トランス等の音質劣化要因無しに使用できます。カートリッジの負荷抵抗は 50Ω~10kΩ の範囲で調整できます。

## TECHNICAL INFORMATION

出力	2 x 300 W (8Ω時) , 2 x 600 W (4Ω時) 歪み<0.006% (THD+N: 1-100 W / 8Ω) IMD<0.002% TIM<0.008% (1-100W, 4Ω)
フォノ	フローティング RCA 入力端子 x 1 系統 50Ω から 10kΩ まで調整可能な負荷インピーダンス 再生周波数帯域 : ±0.5dB (20Hz - 20kHz) ノイズ : < -90dB re ( 2V out) 歪み : < 0.02% (20Hz - 20kHz) RIAA 補正カーブ ゲイン: 71~81 dB ※フォノ入力~プリアウト : 60dB (70 dB まで 5 段階、2dB ステップで調整可能)
ライン	RCA ライン入力端子 x 3 系統 (Line 1, Line 2, Line 3) 入力インピーダンス : 10 kΩ ゲイン : Line 1/Line2 : 5-15dB ゲイン : Line 3 : 1-11dB
デジタル	RCA 同軸入力 x 2 系統 SPDIF (32-192 kHz / 24 bit) TOSLINK オプティカル入力 x 2 系統(32-96 kHz / 24 bit) 完全に絶縁された USB 入力 x 1 系統(UAC 2) , 非同期(PCM 32-192 kHz / 24 bit ,DSD64 / DSD128)
ボリューム調整	-80 dB から 0 dB まで 1 dB ステップで調整可能なボリューム
消費電力	待機モード時 : 約 0.5W、アイドル時 : 50W 未満
サイズ	H88 x W440 x D370 mm
重量	15 kg
仕上げ	シルバー (アルミニウム)
付属品	リモコン、電源ケーブル (Ansuz)
価格	¥ 1,550,000/台 (税別)
オプション	DAC モジュール ¥500,000 (税別) MC Phono モジュール ¥500,000 (税別) ※ 受注発注となります。 ※ あとから DAC、MC Phono モジュールを追加する場合、別途、本国への送料、手数料がかかりますのでご了承ください。

\*仕様や価格は予告無く変更する場合があります。





## About Aavik Acoustics

### **Aavik Acoustics project**

Aavik Acoustics(オウヴィック・アコースティクス)はデンマークが誇る優れたアンプ開発者とともに 2014 年に立ち上げた共同プロジェクトです。

Aavik の目標はデンマークデザインに特有のミニマルズ的な機能とともに音響的にも驚かれるような性能のアンプを創り出すことです。言うまでもなく、設計する製品は想像できうる最良のサウンド体験を提供するのは当然ですが、設置場所においてもオーディオ機器が美的芸術作品でもあるべきだと確信しています。

### **オーディオ機器産業における長年の経験**

このプロジェクトの創始者である Michael Børresen(マイケル・ヴェアセン)と Lars Kristensen(ラース・クリステンセン)は、オーディオ業界での長年の経験を積んでいます。

彼らは共にスピーカー会社「Raidho Acoustics(ライドロー・アコースティクス)」を創立させ、革新的かつ優れたスピーカーでいくつもの受賞歴があります。また、オーディオケーブル事業にも数十年にわたり関与しており、2013 年に立ち上げたオーディオケーブル会社「Ansuz Acoustics(アンスズ・アコースティクス)」で多大な成功を収めています。もちろん、長年の経験にもかかわらず全てを知っているとは限りません。それがデンマークの優秀なアンプデザイナーとプロジェクトを組んでいる理由です。